

茜町春彦

WEB 絵本

露店商人

金子文子

第12卷

目次

扉	1
第1 2 卷	1
後書き	7

扉

WEB絵本

『露店商人（金子文子）』第12巻

絵・訳：茜町春彦

原作：金子文子

Title: A Street Vendor (Kaneko Fumiko) volume 12

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko

Original author: Kaneko Fumiko

第12巻



BK008Fu112svIMG01.jpg

こうして私は、神に仕え、人に奉仕した。

けれど私はその酬いを得なかった。

私はもう三日も食べないでいた。そこでまた新しい職業を求めてまわったけれど、その職業すらも与えられなかった。

Thus, I served God and people.

But no reward was given to me.

Then I had no meal for 3 days. So, I was looking for a new job. But I could get no job.



しかもそれのみではない。私の払ってあった間代がきれたというので、家主から請求にあった。無論私には払えなかった。

私はとうとう、いつか秋原さんから話のあった女中奉公に出ようと決心した。そして、売れ残った自分の荷物をまとめてその家を出た。

出るとき私は、荷物を玄関に置いて「どうも永い間御世話になりました」と、丁寧に頭を下げ、別れの挨拶をした。

すると、玄関わきの部屋で夫と二人で食事をしていたおかみさんが、持っていた箸もおかずも、ちょっと顔を振りむけたままで、「いいえ、どう致しまして、さようなら」と冷たい一瞥を投げたばかりであった。

Furthermore, my advance payment of rents ran out and then, the landlord claimed the monthly rent.

Needless to say, I couldn't pay.

In the end, I decided to work as a live-in employee recommended by Mrs. Akiyama sometime ago.

And then, I packed up the unsold goods and my belongings.

And I left the house.

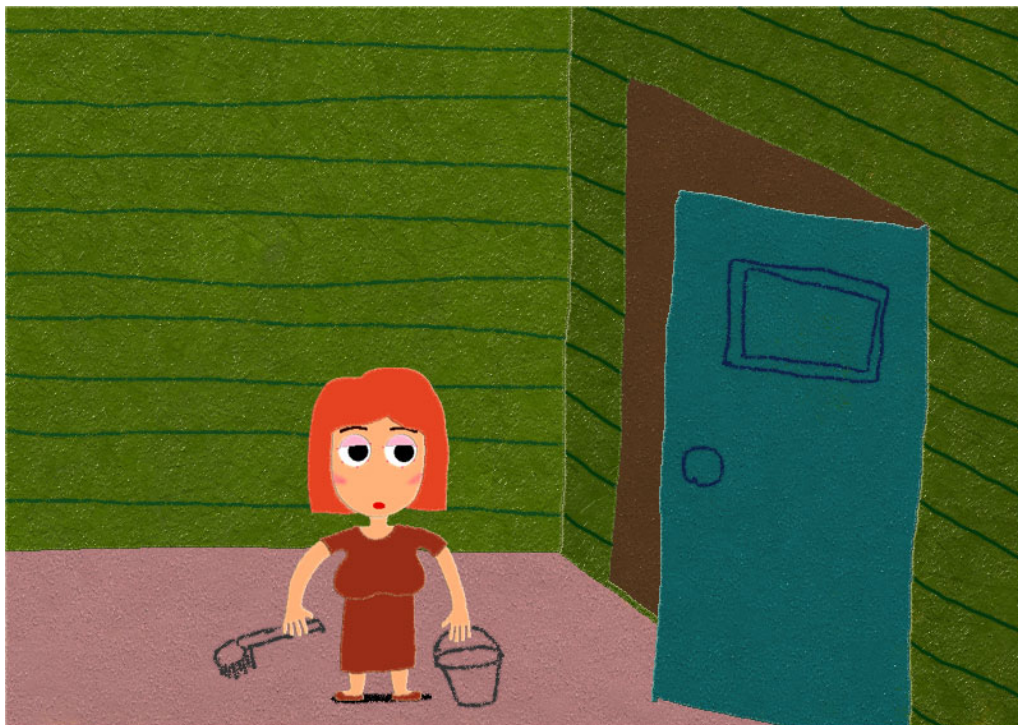
When I left it, I put my baggage on the floor of the entrance and said farewell bowing deeply.

“Thank you for everything you did for me.”

Then, the wife was eating a meal in the room next to the entrance, together with her husband.

She didn't stop eating her meal and she slightly turned her face toward me.

Giving a scornful glance at me, she said “No problem. Goodbye.”



眠りを破るのを遠慮して、借りている部屋にも帰らずに露天に寝たり、自分の用さえ足しかねるほど忙しい苦しい身でありながら、しないでもいい便所の掃除までしたそれらの心づくしは、遂に何ものにも価値がなかったのである。

In order not to disturb their sleep, I didn't return to my room and slept outdoors

sometimes.

Though I was so busy and hard that I couldn't take care of myself, I voluntarily cleaned the bathroom.

My kindness got nothing in return after all.



基督教の教えるところは果たして正しいのでしょうか。

I wonder if the Christian teaching is really right.



それはただ、人の心を誤魔化す麻酔剤にすぎないのではなかろうか。

I wonder that it is only an anesthetic which makes a person's mind unable to feel anything.



人間の誠意や愛が他人に働きかけて、それが人の世界をもっと住みよいものにしない限り、そうした教えは遂に何らかの欺瞞でなくて何であろう。

People with love and sincerity must persuade other people.

And they must change the world to a more comfortable world.

If not, the teaching is nothing less than a cheat.

(女中奉公へ続く)

後書き

告知：

『露店商人』の章は、今回で終わりです。

次回は『女中奉公（金子文子）』第13巻となります。巻数は通巻です。

背景の描き方を、装飾的かつ抽象的なものに変更する予定です。キャラクターの描き方は変えないつもりです。

参考文献：

何が私をこうさせたかー獄中手記（金子文子著 岩波文庫 2017年12月15日第1刷発行）

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

ArtRage 5 アンビエント社

Photoshop Elements 2020 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行っております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

ピクシブ カクヨム エブリスタ はてなブログ 楽天 Kobo 電子書籍ストア
Facebook ページ YouTube BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2020年9月27日発行

WEB絵本『露店商人（金子文子）』第12巻

著 茜町春彦

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
